
平成 28 年度

まちづくり活動助成 活動視察

名古屋大学科学部

「現役名大生の夏休み自由研究お助け隊 生き物マップを作ろう！」名城公園編

■平成 28 年 8 月 21 日（日）10 時 00 分～14 時 30 分

■場所 名城公園 北区名城 1 丁目

■名古屋大学科学部

「サイエンスをもっと身近に」をテーマに、子どもから大人まで、科学の楽しさと驚きを共有する場を創ることを目指して活動しています。

今年度は、小学生以上を対象に名城公園でフィールドワークを開催し、「生き物マップ」の制作と環境美化活動を行います。活動で制作した生き物マップを公開し、市民と協働した環境保全活動の一例として広めていきます。

■活動のようす

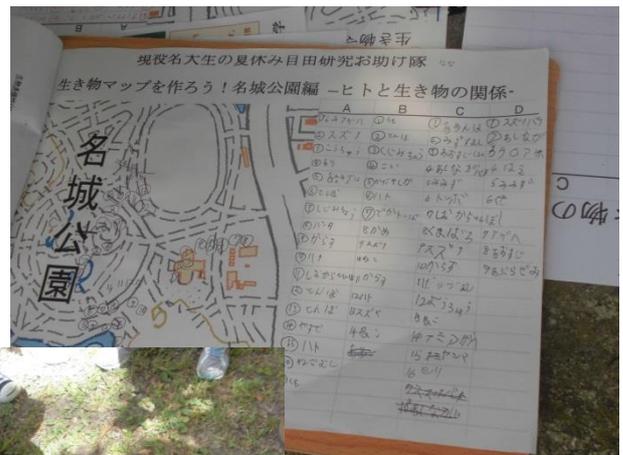
「“はじめの一步”部門」で選考された名古屋大学科学部の『現役名大生の夏休み自由研究お助け隊』生き物マップを作ろう！の活動視察に伺いました。

名城公園に、名古屋市内をはじめ、一宮市、岐阜県、滋賀県から小学生とその保護者が約 30 人が集まり、開会のあいさつの後、フィールドワークが行われました。



名古屋大学科学部のメンバーと子ども達は、エリアで分けた名城公園内を、班ごとに散策し、池の中に住む生き物や、木の葉にかくれている生き物等を見つけたらその名前と、地図には見つけた位置を記入し「生き物マップ」を作ります。

わからない生き物はスタッフから名前を教わります。



「生き物マップ」



「生き物マップ」の作成と同時に、名城公園内の環境美化活動も行いました。

きびしい暑さの中、子どもたちは、生き物にやさしい環境を守るために、ペットボトルや空き缶、タバコの吸い殻等を積極的に拾っていました。



集合場所に戻り、各グループごとに生き物マップに記入した生き物を発表します。

1班から3班のグループ全体で、シオカラトンボやシジミチョウ、バッタなどの昆虫をはじめ、水の中に住むニシキゴイ、カメその他アオサギ、カラスなど合わせて約80の生き物が記入され、



エリアごとにどんな生き物がいたか読み上げて確認しました。

子どもたちには、名城公園の中の多様な生き物の発見、観察を通して、環境美化や環境保護を考える意識が芽生えている様子でした。

最後に、名古屋大学科学部より参加者のみなさんに向けて、本日の参加のお礼と、活動の成果として「生き物マップ」を1つにまとめて、後日参加者に送付すると話がありました。厳しい暑さの中のフィールドワークでしたが、木陰で休憩して水分補給の声かけを行い、ハチ等の危険生物への注意等、安全にも配慮していたので、ケガもなく無事に終了しました。

子どもから大人まで楽しめる「サイエンスをもっと身近に」する活動が、魅力的な環境づくりにつながるまちづくり活動へと発展していくことを期待します。

